



あさひむら

議会だより



令和5年度朝日村二十歳のつどい



躍進の時代へ

朝日村議会議長 北村 直樹

新年明けましておめでとうございます。令和6年の新春にあたり議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。村民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は議会メンバーも大きく入れ替わり新体制にてスタートを切り、また議会だよりは発行から50号の節目を迎え、本紙で51号となりました。着実に新しい時代を歩んでいると感じております。

今年の干支は「辰」。

「辰」は十二支の中で最も縁起が良いと言われ、特に物事を良い方向へ導いてくれる力があるとされています。私たち議会も辰のごとく村民の皆様の生活や福祉向上のために頑張る所存であります。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

もくじ

- 12月定例会 2
- 臨時会・全員協議会 3
- 委員会報告 4
- 一般質問 村政に問う 5-9
- 議員活動報告・議会活動日誌 10-11
- ちょこっと訪問・編集後記 12

●「議会だより」第51号

発行日／2024年1月31日
 発行／朝日村議会
 〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村
 大字古見1555番地1
 TEL. 0263-99-2001 (代)
 FAX. 0263-99-2745
 Eメール: gikai@vill.asahi.nagano.jp
 印刷／日本ハイコム株式会社

地方債繰上償還金・物価高騰対応重点支援金事業など 2億1,700万円追加

令和5年度
一般会計予算 **総額38億9,820万円に**

12月 定例会

12/5 ~ 15

12月の定例議会は5日から15日までの11日間の会期で開催された。
提出された議案は条例10件、予算6件、報告1件、その他2件
で、5日の全員協議会、8日の総務産業委員会、12日には一般質
問を行い、15日最終日に上程された同意3件全ての議案を原案ど
おり可決した。



<主な議案>

朝日村犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者等の支援を総合的に推進し、犯罪被害者等が受けた被害の早期回復及び軽減を図ることを目的として制定

朝日村防犯カメラの設置及び運用に関する条例の制定

村が行う防犯カメラの設置及び運用に関し必要な事項を定め、村民等の権利利益を保護するとともに、村民等が安心して安全に暮らし続けられる地域社会の実現に寄与することを目的として制定

一般会計補正予算

歳出の主なものは、地方債の繰上償還金1億2,705万円 ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業（低所得世帯支援追加分）2,039万円、本郷工区ほ場整備事業2,010万円

朝日村防犯カメラの設置及び運用に関する条例の制定 質疑・討論行われる

最終日には、議案第58号朝日村防犯カメラの設置及び運用に関する条例の制定に対する質疑、討論が行われた。
質疑では、豊田恵美子議員から「この条例制定に当たって住民から理解が得られているのか」との問いに、村からは「過去に議員からの設置要望もあり、また近年の社会状況を鑑み検討してきた条例であり、パブリックコメント、村公式LINE、新聞掲載等々行い周知を図ってきた。」と回答があった。
また、豊田議員は「時期尚早」と反対討論を行い、小林弘之議員、羽多野美映議員が「地域の安全のために設置するものである。何よりも住民を守ることが重要である。」と賛成討論を行い、賛成8、反対1で可決された。

議案 番号	議案の内容	議員名及び賛否 ○賛成 ×反対								
		齊藤 正法	中村 文映	羽多野 美映	豊田 恵美子	清澤 あゆみ	古池 美佐江	小林 弘之	清沢 正毅	清沢 敬子
第58号	朝日村防犯カメラの設置及び運用に関する条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○

人事案件 朝日村固定資産評価審査委員会委員の選任の同意

柳沢 俊作氏 上條 安志氏 上條 幸男氏
任期 令和5年12月25日から令和8年12月24日まで(3年間)

第6回 臨時会

10月27日（金）に招集された令和5年朝日村議会第6回臨時会では、「教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」2件の議案が提出され、原案どおり可決した。

人事案件

教育委員会委員の任命の同意

上條 正光氏 横山 潤子氏

任期 令和5年10月27日から令和9年10月26日まで（4年間）

全員 協議会

10月11日

●小学校開校150周年事業

来年度朝日小学校開校150周年を迎えるに当たり記念事業実施について説明があった。来年度の学校行事では150周年の冠を付けた記念の音楽会、運動会として実施予定。その他、特定空家略式代執行予定について、朝日村文化祭について報告を受けた。



150周年を迎える朝日小学校
学校要覧より

●オンライン委員会要綱検討

議会では、デジタル化検討委員会で検討を重ねてきた、オンラインで委員会を行う要綱（案）について協議した。修正を加え今後、再度全員協議会で決定とする。

10月27日

●医療体制の在り方について

3回の協議会内容と住民向けアンケート結果について説明があり、今後現在の協議会から選考委員会と建設委員会を分け令和8年3月の診療所開設を目指す。

●デジタル化検討委員会の今後について検討

（詳しくは12頁）

11月8日

●条例制定について

犯罪被害者等支援条例（案）

防犯カメラ設置条例（案）についてパブリックコメントに寄せられた意見の説明

●「すこやか長寿計画」の骨子について

現在、計画策定委員会で検討されている計画について報告

●ゲストハウス指定管理者の募集要項等について

令和6年4月からの新たな指定管理者募集について、選定委員会を設置すること、募集要項等の内容について。12月中旬に指定管理者を決定し、議決を得たいとの報告

12月15日

●すこやか長寿計画・福祉計画の素案について

12月下旬からパブリックコメントを行い2月中には素案をまとめる予定

●村営住宅建設事業について

近隣住民説明会の報告と今後のスケジュールについて説明

●2024財政計画について

毎年見直しを行っている計画がまとまり、今後10年の財政の見通しを説明

●マレットゴルフ場 村の方針について

審議会での「廃止が妥当」との答申がされているが、今後住民に改めて村の方針を示し意見を聴取し最終決定する方向
このほか7項目を協議



マレットゴルフ場管理棟

総務産業委員会報告 「防犯カメラ条例案」に対する陳情意見ヒアリング

陳情としての受理ではなく、議員への資料配布扱いとなっていました「朝日村防犯カメラ設置条例（案）」の陳情について12月8日に提出者から意見を伺いました。

陳情内容は、村民への周知を諮り、理解を更に深め、村民の意思のより反映された成案を得ることのできるよう、議会はブレーキをかけてほしい、制定のプロセスが村民に届いていないとのこと。意見は、村民は内容を吟味する情報を持たないまま制定される。村民が置き去りにされている。条例（案）3条、7条を審議してほしいとのことでした。

12日全員協議会で報告し、議員はそれぞれ受止め議決を行うこととなりました。

(総務産業委員長 齊藤 正法)

社会文教委員会「先進地視察」報告

医師確保の難しさを実感！

村が今年度開いた『今後の医療あり方協議会』は3回の会議を経て『公設民営の診療所の開設を』と村に答申を行った。

これを受け12月22日、社会文教委員会は既に『公設民営』の診療所を開設している上伊那郡中川村と飯島町に視察を行った。

中川村は昭和48年から直営診療所を運営してきたが、村の一般会計からの繰入の増加や建物の老朽化もあり、平成16年新築移転を機に『公設民営』へと切り替えた。また、飯島町は開業医の高齢化や廃業に伴い、26年に開業支援補助金など4つの支援制度を設け、医師確保の事業を始めた。28年に応募があり協議の結果『補助金支給』ではなく、村が地域福祉センターを増改築し医療機器を準備し『公設民営』での開業となった。

両町村の診療所の経営は現在安定しているとのこと。しかし、中川村「村が医師から選ばれる地域にならなくてはいけない」、飯島町「補助制度を作りコンサルにも依頼したが応募は2年後の説明会だった」とのことで、医師確保の難しさを強く感じた。

委員会としては、今後も村の地域医療の充実、医師確保、広がる医療の広域化など検討していく。

(社会文教委員長 中村 文映)



中川村片桐診療所

議会モニターになりませんか

朝日村議会では、議会の運営等への意見・提言などを行っていただく議会モニター制度を導入しています。いただいた意見や提言などは議会において検討し、改善が必要なことは、できることから進めていきます。

モニターの皆さんからは、定例会等の会議、議会だよりへ意見、提言等を出していただいています。年に2回会議を開催していますが、メール等で意見を寄せていただいてもけっこうです。

詳細は、議員または議会事務局へ



一般質問

村政に問う!!

一般質問とは、議場において議員が日常活動と住民の声や疑問をもとに、村政全般にわたり行政の姿勢をたずねるものです。



▲こちらから動画でご覧いただけます。

ここが聞きたい 9 議員20項目

羽多野 美映 議員 (5頁)

- 1 村の水源を活用した安全・安心でおいしい水の供給の3つの「ほしょう」保証・保障・補償について
- 2 男性にも「子宮頸がんワクチン」接種の機会を!
- 3 全国体力運動能力、運動習慣等結果に見る朝日村の子供たちの現状と子供の運動習慣形成と体力向上のための取り組みについて

豊田 恵美子 議員 (6頁)

- 1 朝日村御馬越左岸小水力発電所計画について
- 2 「朝日村防犯カメラの設置及び運用に関する条例(案)」について

清澤 あゆみ 議員 (6頁)

- 1 子育て施策の周知の仕方について
- 2 あさひプライムスキー場オープンに向けた安全管理について

古池 美佐江 議員 (7頁)

- 1 住民福祉について
- 2 行政の広報や住民からの聞き取りについて

小林 弘之 議員 (7頁)

- 1 朝日村内の水路管理について
- 2 防災行政無線事業について

清澤 正毅 議員 (8頁)

- 1 村簡易水道の節水協力要請の背景と今後の安定した水源確保対策は?
- 2 公共事業建設工事・森林整備事業業者の入札資格申請の県への一本化について

清澤 敬子 議員 (8頁)

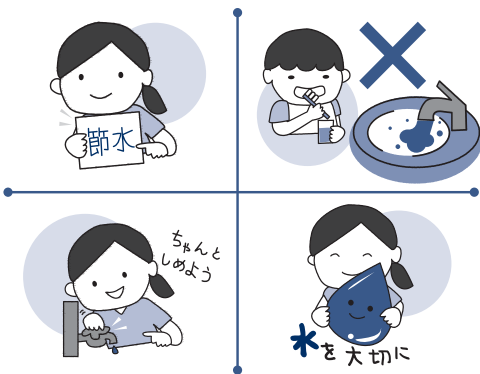
- 1 命を守る自転車用ヘルメット着用推進と購入費助成について
- 2 新規就農・親元就農、スマート農業・機械購入に関する取り組みについて
- 3 高齢者の地域コミュニティ活性化と会場環境整備について

齊藤 正法 議員 (9頁)

- 1 朝日村 2050 ゼロカーボンビジョンの推進について
- 2 地域づくりと集落支援員の活動について

中村 文映 議員 (9頁)

- 1 経済の地域循環と小水力発電について
- 2 令和7年国勢調査に向けての人口増対策について



問 現状への対応と、恒久的な対策は?
建設環境課長 緊急的な措置は各水源からの補給。御馬越水道と大尾沢浄水場とが接続されており、配管工事を行い補給可能となった。舟ヶ沢の余剰水を災害用浄水機を設置し補給する。深夜帯の不明水は漏水箇所の特定と補修を行う。恒久対策は水源となり得る箇所の調査を基本計画策定業務に組み込み、新たな水源の調査を行っていく。

答

原因は夏〜秋の雨量の減少、
渇水対策本部を設置し対応中



羽多野 美映 議員

水源地の渇水、水の供給は?

村長 危機的な断水は避けられた。2月の渇水期に向けても難局は乗り切れそう。村内の水道事情が村民に認知されていない。節水は引き続きお願いし、放送内容を変えながら、全村に周知を続ける。

男性へのHPVワクチン接種費用の助成検討を!!

住民福祉課長 HPVは性別にかかわらず感染する。男性の場合でも様々な病気を引き起こすウイルスであるが、広く知られていない。国ではこのワクチンの有効性や費用対効果の評価検討が行われており、村でも前向きに検討。任意接種と言われる予防接種についての情報発信の取組についても検討していく。



※ヒトパピローマウイルス…子宮頸がんの原因と言われているウイルス





豊田 恵美子 議員

小水力発電計画の メリットは



答 CO₂削減である

問 村へのメリットが少なく環境に負荷をかける小水力発電ではなく、地元住民の声に耳を傾け、鎖川の生態系の保全、水資源の保全循環システムの構築を行う方法でCO₂削減をすべきではないか。

村長 一番のメリットはCO₂削減である。また、固定資産税等税収が見込まれる等メリットがある。今後、地元住民への最終説明会を行い、地元住民の意向を聞く予定である。その後、村民全体に説明を行っていく。



三俣堰堤



防犯カメラ

防犯カメラ設置条例（案）について

問 住民の肖像権・人格権を侵害し、個人情報保護の問題に係る公共空間への行政によるカメラ設置に関する条例である村民への周知説明が必要ではないか。

総務課長 議会全員協議会で数回も検討し、村民にはホームページ・告知放送、役場と公民館での掲示、新聞報道、パブリックコメントを行っており、説明責任は果たしている。防犯カメラ設置は、村民の声を代表した多くの議員が数年前から一般質問で設置の必要性を指摘しており、村民の声を受けての条例制定である。



清澤 あゆみ 議員

子育て施策の 周知の仕方について



答 施策をまとめたリーフレットを作成する

問 対象家庭への施策の説明は？

教育次長 年齢や段階に応じたきめ細かな説明をすることが住民サービスと子育て支援につながると考える。機会を逃さないよう対応し、リーフレットも活用していく。

問 新たに考える告知方法はあるか。

教育次長 ラインの登録を促す。テレビ松本を使用しての告知も考える。

問 母子手帳の交付手続き、出生届提出時に子育て施策について伝えていくか。

住民福祉課長 健診について伝え、子育てノートを使って面談。今後、リーフレットも渡していく。

問 様々な夫婦形態があるので配慮が必要だが、婚姻届提出時にリーフレット等渡しているか。

住民福祉課長 今後カウンターに置いて自由に持ち帰れるようにする。

あさひプライムスキー場の安全管理について

問 リフトの工事期間、もう少し余裕を持った方がいいのでは？

産業振興課長 事前の準備から最終の工事確認書類提出期間を含めて工期としている。安全対策を最優先とし、村、指定管理者、事業者と協議を進めながら安全管理を徹底していく。





古池 美佐江 議員

朝日・波田線で 福祉パス券の発行を



答 どうするか検討する。松本市、山形村とも協議検討する。

行政の広報や住民からの聞き取りについて

問 融和集会で話された内容などが全く村民に知らされていないのはなぜか？

企画財政課長 融和集会はテーマを決めて議論し行政執行に関わる意思・形成過程の場ではなく、参加者とごつくばらんに対話する事を目的としているため、記録はしているが公開は前提としていない。

問 村はどういう方法で、どれくらい広報するのが適当だと考えているか。また、情報発信の方法を改革していく具体策はあるか。

企画財政課長 村では、広報・回覧板・告知放送・ホームページ等の手段があり、ライン・メールでも発信している。例として、村営賃貸アパート事業については、広報で3回、町会・区長会での説明会の実施、ホームページに掲載する等情報発信に努めているが、受け手の利害や興味の高さにより様々な捉え方があるこ



松本市「ぐるっとまつもとバス」

とも承知している。今後もDXの推進に向けて村民に実施したデジタルアンケートの結果を参考に、情報発信の見直しを図っていく。



小林 弘之 議員

朝日村内の 水路管理について



答 土地所有者は村、受益者が管理

問 村内にある水路はどのくらいあるのか？その水路土地所有権はだれが（村地区）管理しているのか？

建設環境課長 所有者は様々だがほとんどが村。管理は受益者で組織し地区・区が行っている。管理は村が願っている訳ではなく受益者が責任をもって行っている。

問 国、県には多面的機能支払交付金制度があり村内で交付金を用いて維持管理している地区はあるのか？



水利取入れ口

建設環境課長 現在、村内3団体が制度を利用している。

問 他地区と同じ作業をしている小野沢地区ではなぜ多面的交付金制度を使っていないのはなぜか？

建設環境課長 再度小野沢、針尾区へ制度を周知させたいと思う制度は、県の担当者が説明する。

問 水路土地を含む災害や老朽化に伴って補修工事の実施主体は村で対応するのか？

建設環境課長 老朽化など農業用排水路、長寿命化工事等、土地改良事業は受益者が発生するため、受益者負担金をいただかなければいけない。そこをご理解いただきたい。

問 水路、土地を含む災害や老朽化にともなって補修工事の実施主体は村で対応するのか？

建設環境課長 高齢化また過疎化というところは否めない受益者が管理していく基本路線でお願いしたい。



清沢 正毅 議員

水道断水回避と 今後の水源確保は？



答 渇水対策本部を立上げ断水回避対応中、
安定水源確保策も研究

問 現在村民へ節水協力要請があり、更に2月は例年渇水時期となるが断水回避対策への取組は万全か？
また、今後も異常気象による高温少雨が常態化すると言われているため、将来に向けた安定水源確保計画の作成が必要と考えるが、行政の考えは？

建設環境課長 11月末に渇水化対策本部を立ち上げ御馬越水道連結、簡易ろ過装置2台設置、近隣自治体からの給水車受水等の対応により、断水は回避できそう。恒久対策として、今後の企業誘致も含めた、計画給水人口・水需要予測・給水量算出および新たな井戸水脈調査等を含め安定水源確保策に向けて、水道事業基本計画策定を今年度末までに実施する。また、広域連携による水道事業運営にも積極的に取り組む。



仮設ろ過装置設置状況

公共事業建設業者等入札参加資格申請の県への一本化について

問 市町村の省力化をねらいとして24年度から入札参加資格を県で一括審査するとの事ですが、当村も県に委託するのか？

総務課長 現在当村では該当する参加資格申請対象事業者は合計で800社ある。まだ県からの参加費用での条件が不明確なため現在は見合わせているが、来年度以降費用面での条件が明確になったところで前向きに考えていく。



清沢 敬子 議員

未来を担う 農業経営者対策は



答 10年先の農業を維持するために組織化が必要
農業ビジョンに沿った形で考えていく

問 新規就農者の育成支援策は？
産業振興課長 まずは村内の農業者で指導者となる里親を増やすのがメイン。その研修費の補助を今後行う予定。里親制度をしっかりと作っていくこと。村として経費のかからない地域おこし協力隊を雇っていくこと。住む所、機械置場などの整備。松本市と県とJAの新規就農者育成対策事業の参考事例を含めながら検討している。

問 朝日村農業機械購入補助を見直す考えはあるか？
産業振興課長 農業機械購入補助については、来年度から個人に加え、法人も対象とする。
スマート農業・農業用機械・生産施設導入など購入支援は、国・県の補助制度を活用できるように周知する。

自転車用ヘルメット着用推進について

問 県平均着用率17.3%と低いヘルメット着用の意識付けは？

総務課長 令和5年4月1日から努力義務化。保育所、小・中学校、学校PTAに対し、子供が自転車を運転する時は、ヘルメット着用を努めるよう確認。高校生は5万円の通学補助をしており、その際にヘルメット購入着用について周知啓発していく。また交通安全教室などでの呼びかけ、回覧板・広報などで啓発を行っている。



スマート農業「自動操舵システム機能付きトラクター」



齊藤 正法 議員

来春 フューチャーデザインを



答 今後、検討する

村 2050ゼロカーボンビジョンについて

問 小水力発電所の視察は可能か？
建設環境課長 そういう機会をつくっていききたい。

問 ゼロカーボンビジョンの進捗は？

村長 太陽光発電や蓄電システムなど細かな手を打ってきているが、大きなプロジェクト（小水力発電）は今回が初めて。決まったわけでは無いが、CO2削減を着実に摘み取っていく。

松くい虫対策も大きな影響を与える。早めに樹種転換をしていくことも一つの取組だと思う。今後、古見地区の皆さんと協議に入る予定である。

地域づくりと集落支援員の活動について

問 集落点検その後の活動は？

企画財政課長 役員の負担や負担金

等の問題点が見えてきている。集落支援員が区の運営委員会に出席し話し合いを行っている。

問 入三でFD実施はどうか？

総務課長 手法を学んだ職員が入り、将来を見通した計画作りができると思う。



※フューチャーデザイン（FD）…様々な課題に対し、現役世代だけでなく、その課題の影響が及ぶ将来世代の立場も踏まえて議論しようという取組



中村 文映 議員

若い職員に村に住んで もらったかどうか？



答 職員は村内に住みたいと思っているが住宅がない

問 村が計画している「優良賃貸型住宅」に、人口対策として職員に住んでもらったかどうか。

企画財政課長 賃貸住宅は子育て世代向けの住宅である。

問 危機管理の面や組織論的にも職員の村内居住は必要ではないか。

総務課長 賃貸住宅にも条件が合えば居住できる。今後職員住宅や組織のあり方も含め検討していきたい。

問 他市では職員にふるさと納税を勧奨しているが、村はしているか。

総務課長 していない。
企画財政課長 検討して、可能なら周知していく。

小水力発電を村がやったらどうか？

問 小水力発電は県の企業局も調査しているが県と打ち合わせしているか

建設環境課長 打ち合わせはしていない。県の事業を見守っていく。



小水力発電所建設計画がある鎖川上流部

村長 村は色々な事業を進めたい。村が小水力発電することは優先順位が低いと考える。しかし、県が調査している内容や、費用がどの位掛かるか聞いていきたい。
小水力発電は他村で取り組もうとしている。できるかできないかは村や職員の思いだ。村民の知らないうちに民間企業の事業にゴーサインを出すことのないようにしてもらいたい。

長野県庁・国会議員会館訪問

10月30日朝日村をはじめとする東筑摩郡議長会の要望書を携え県に要望活動を行いました。

県庁では関副知事や長野県建設部長と面談し、関副知事から「朝日村をはじめとする東筑摩郡の課題解決は長野県の発展に大きく寄与する。各課と連携してしっかりと対応をしていきたい」と力強い言葉をいただきました。

翌月11月28日には国会議員会館にて要望活動を行い、長野県選出の務台俊介・下條みつ・中川宏昌・羽田次郎代議士の議員室を訪問し朝日村の課題について陳情請願を提出いたしました。

各代議士より「関係機関に働きかけ早期課題解決に向けて全力で取り組む」との言葉をいただきました。村の課題を長野県そして国に届けることが課題解決の一步となり、ここで暮らす我々の幸せに繋がるものであると確信しています。

引き続き、こうした活動を通じて村の発展のために尽力したいと思います。

(北村 直樹)



関副知事へ要望



国会議員に要望

東筑摩郡村議会議員交流会から

11月6日、3年ぶりに東筑摩郡村議会交流会が麻績村地域交流センターで開かれました。

柳澤秋孝松本短期大学名誉教授の「今、子どもの教育に必要なこと～運動を通じて子どものこころと身体を育む～」という講演を聴きました。「日本の子どもを取り巻く環境が昔と変わり、外遊びが減少してきたことで脳の発達に遅れが見られる。昔は



郡下議員約50人が参加

遊びの中で全身を動かし、自然に子ども同士がコミュニケーションをとり、前頭葉が発達した環境があった。

室内での静的遊びが増えている現代は、子ども達に運動の楽しさを体感させることが必要」という大変興味深い話でした。麻績村文化財を見学し、シェーンガルテンおみで議員同士の交流を深める事ができ、有意義なひとときでした。

(古池 美佐江)



麻績村文化財の視察

議員は、議員活動日誌のとおりたくさん
の諸会議・行事・研修及び視察を行っています。
このコーナーでは、主な活動について報告し
ます。

議会活動日誌

10月

4	水	松本広域連合議会常任委員会視察研修
5	木	あさひ保育園運動会
8	日	松本山雅ホームタウンベアラー
9	祝	スポーツフェスティバル
10	火	土地開発公社理事会 松本広域連合議会運営委員会
11	水	全員協議会・老人福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定委員会
12	木	先進地視察（埼玉県12～13日）
15	日	村民ゴルフ大会
20	金	松本地域正副議長懇談会 11P 議会運営委員会
21	土	鎖川愛護会河川清掃作業
23	月	県議長会定期総会 東筑議長会県議会要望 10P
24	火	全国監査委員研修会（24～25日）
27	金	第6回臨時会
28	土	朝日村 OB 野球リーグ閉幕式
30	月	東筑議長会県要望 10P
31	火	松塩地区広域施設組合議会

11月

1	水	松塩地区木曾老人福祉施設組合議連
2	木	朝日小学校校内音楽会
5	日	朝日村表彰式・あさひスキークラブ定期総会
6	月	東筑摩郡議員交流会
8	水	全員協議会・鉢盛中学校議会
9	木	環境保全協議会視察（9～10日）
10	金	松本広域連合組合議会運営委員会
15	水	松本糸魚川連絡道路建設議員連盟
16	木	福井県池田町行政視察対応
17	金	松本広域連合議会定例会
20	月	松塩地区木曾老人福祉施設組合議連 総務産業委員会勉強会・県議長会打合せ
21	火	県議長会国へ要望活動（21～22日）
24	金	JA 野菜販売実績検討会
27	月	老人福祉計画及び第9期介護保険計画策定委員会・議会運営委員会
28	火	全国町村議長大会・国会議員要望（28～29日） 10P
30	木	行政改革推進委員会

12月

1	金	県議長会12月役員会
5	火	12月定例会開会 P2・P3
8	金	常任委員会
12	火	12月定例会一般質問
14	木	あさひプライムスキー場安全祈願
15	金	定例会本会議・全員協議会
17	日	アイススケート場安全祈願
18	月	土地開発公社理事会
19	火	森林の里親契約更新調印式 テレビ松本年始挨拶収録
22	金	社会文教委員視察
23	土	観光協会プロジェクト報告会
26	火	JA 行政懇談会・総合計画審議会 保育園餅つき会

第45回松本地域正副議長懇談会 意見交換会

10月20日、松本博物館にて松本地域正副議長懇談会が開催された。

この会は生活圏域の広域化に伴い、周辺市村との連携を必要とする行政の諸問題が多くなってきているので、市村議会としても住民の福祉向上と地域一帯の均衡ある発展を期するため、意見交換し住民の負託に応えることを目的としている。

毎年1回の開催だがコロナ禍で4年ぶりに開催された。

まず「松本市立博物館について」加藤 孝館長から講演を聞きその後、博物館館内を視察した。この地域を一体とした歴史がよく分かる素晴らしい博物館であった。

みなさんも一度は松本博物館に行ってみましょう！

（小林 弘之）



4年ぶりの開催

第67回町村議会議長会全国大会

11月29日、東京渋谷NHKホールで行われた町村議長会全国大会に出席。

全国の町村議長を含む1600名が一堂に会し、各地の「農業・林業・水産業振興対策」・「町村財政の強化」・「議会機能強化及び多様な人材が参画するための環境整備」等について、様々な要望や決議を行いました。特に近々の課題としては、私たちの生活に直結する原油価格・物価の高騰であり国民生活や経済活動に深刻な影響を及ぼしています。このような課題は長野県だけではなく全国47都道府県皆同じであります。国はしっかりと要望を受け入れ対策を講じていくことを願っています。

また、後半には「地域から輝く日本へ。未来への選択と責任」について講師である伊藤聡子氏の研修を受け、皆、熱心に聴講しました。

また、後半には「地域から輝く日本へ。未来への選択と責任」について講師である伊藤聡子氏の研修を受け、皆、熱心に聴講しました。

（北村 直樹）



全国研修 NHK ホールで開催

我がむら再発見!
ちよこつと訪問

村内の施設やイベントに議員が訪問して
その取組や要望を聞く地域密着のコーナー

第19弾 **ららひかりや**



店主の小島さん



小野沢防災センター近くにある雑貨と駄菓子のお店、ららひかりやさん。店主は小島亜子さん。ららひかりやさんをはじめ3年目になるそう。もともとアトリエとして使っていたスペースに、駄菓子を置いたら子供たちが来てくれるのではとの思いから、はじめは少しだけだった駄菓子の売り場面積がだんだん広がり、今では所狭しと並べられた懐かしい駄菓子に加えて、近隣のアーティストの方の作品も販売しています。一点もののめずらしいもの、かわいいものがあり、大人もわくわくする駄菓子屋さんです。小島さんの作品にも出会えますよ。子供を連れて安曇野市から通う常連さんもいるとか。いろんな人との交流が楽しいと笑顔の小島さんでした。営業日の確認はInstagramへ。

(清澤あゆみ)

**議会デジタル化委員会機能を
新たに議会広報委員会に!**

朝

日村議会は他に先駆けて、令和元年から議会のデジタル化を目指し、会議の効率化・ペーパーレス化・SNSを使ったタイムリーな活動PRの実現を目標として、デジタル化検討委員会の立上げ活動を展開してまいりました。

現在、議会本会議および議会全員協議会を含む各種会議にタブレット端末を導入。各議員が1台ずつ持ち、議場ではプロジェクトを通して議案審議を行っています。これにより、膨大な会議資料等のペーパーレス化を実現しました。また、フェイスブックやインスタグラムなどを使って広くタイムリーに活動報告ができる仕組みを実現、さらには今後の各委員会のオンライン会議に向けた要綱作成にも取り組んでまいりました。

デジタル化委員会としては一応所期の目的を達成することができたと判断し、次のステップに進むべくデジタル化委員会を一旦解散し、現在の議会だより編集委員会機能に包括して、新たに「議会広報委員会」に名称変更し、議会だよりおよびSNS広報の2つの機能を持たせることといたします。

(清沢 正毅)

編集後記

「村の歴史を勉強してくりや」第50号創刊号に寄せられた、粟津原さんの言葉である。「温故知新」とは、過去の出来事や教えを良く調べて学び、そこから新たな知識を得ることを言う。村の治水対策は以前に使用していた設備を再利用して危機を回避するという、先人の築きの上に成り立った出来事だった。

歴史を紐解き、先人たちの成果を次代のイノベーションへとつなげていくためにも、丁寧に根気よく村に目を向けていくことが我々議員の使命でもある。温故知新の言葉は「以て師となるべし」と続く。培ったものを「師」として後世に伝えられるか、活動を問われる。

(羽多野美映)



こちらから
朝日村議会の
ホームページを
御覧いただけます

発行責任者 北村 直樹
議長 北村 直樹
編集委員 小林 弘之
委員長 羽多野美映
副委員長 中村 文映
委員 清澤あゆみ
清沢 正毅